



2023ねん11がつごう (no. 253) **やすとしよかん**

ほんかん	10:00~18:00 (火ようび~日ようび)	でんわ 077-586-0218 ファックス 077-587-5976
ちゅうずぶんかん	10:00~17:15 (火ようび~日ようび)	でんわ・ファックス 077-589-3382
ホームページ	https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/	



こどもむけイベントのおしらせ

★おはなしの森

まいしゅうにちようび 毎週日曜日 10時30分~

場所：おはなしコーナー

絵本やかみしばいをよみます(3歳~)

★ちっちゃんおはなしの森

11月9日(木) 11時~

場所：おはなしコーナー

赤ちゃんから楽しめる

おはなし会です

★ちっちゃんおはなしの森 in 中主

11月22日(水) 11時~

場所：中主分館

赤ちゃんから楽しめる

おはなし会です

今日は水曜日です

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 文化の日	4
5 おはなしの森	6	7	8	9 ちっちゃんおはなしの森	10	11
12 おはなしの森	13	14	15	16	17	18
19 おはなしの森	20	21	22 ちっちゃんおはなしの森 in 中主	23 勤労感謝の日	24	25
26 おはなしの森	27	28	29	30		

※■の日はとしよかんはお休みです

あたらしくはいったほん

『はな 日本のことばずかん』

神永暁/監修 (講談社) K814

四季折々にさく、美しい花、かわいらしい花。昔の人たちも、深い愛情をもって花をみつめてきました。花にまつわることばを、美しい写真や絵画とともに紹介します。



★「日本のことばずかん」は、ほかにもあります。

『ピースケのいえで』

たかどのほうこ/作 (童心社) E/7A

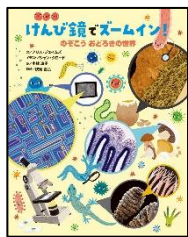
のぶちゃんちのぬいぐるみのピースケが、なぜかみどちゃんのいえに! ピースケはなきながら、ほかのぬいぐるみたちにいえでのわけをはなします。そこへのぶちゃんがやってきたので、みどちゃんもぬいぐるみたちもおおあわて…。



『けんび鏡でズームイン!』

アリス・ジェイムズ/文 小林玲子/訳 (岩崎書店) K460

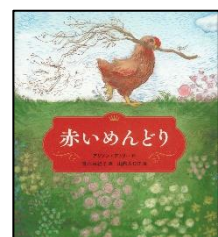
服のせんい、キッチンの食べ物、自分のかみの毛など、身近なものでも「けんび鏡」で拡大したら…びっくりするような発見ができるよ。目に見えない小さな世界を観察してみよう!



『赤いめんどり』

アリソン・アトリー/作 青木由紀子/訳 山内ふじ江/絵 (福音館書店) K933/7D

ひとりぼっちのおばあさんの家に、ある晩、赤いめんどりがやってきました。ふたりは、よりそい楽しくくらしめます。ところが前のかい主の悪い男がやってきます。



★ほかにもあるよ! 「あたらしくはいったほん」のたなをみてみてね。よやくもできます。

『やまの動物病院』

ながわちひろ/作・絵
(徳間書店) K913/カ

山のふもとにある小さな町に“まの動物病院”はあります。そこには

「よしよし」というのが口ぐせのまの先生と、大きなねこのとらまるがくらしています。じつはこのとらまる、夜になって先生がねむったら、こっそり“やまの動物病院”をひらいて、山の動物たちの病気やけがを、みてあげていたのです。



『窓ぎわのトットちゃん』

黒柳徹子/文 いわさきちひろ/絵
(講談社) K914/カ

トットちゃんは、授業中いろいろなことをしてしまい、小学校1年生なのに、学校を退学になってしまいました。でも、あたらしい学校の校長先生は「きみは、ほんとうはいい子なんだよ」と言ってくれて…。



『ドリトル先生アフリカへ行く』

ヒュー・ロフティング/著
金原瑞人・藤嶋桂子/共訳
(竹書房) K933/07

ドリトル先生は、動物好きでたくさんの動物といっしょにくらしていたのですが、そのせいなのか、だんだん人間の患者さんがこなくなりました。でも、かつていたオウムのポリネシアから動物話をならい、動物のこたばが話せる動物のお医者さんになったのです。



『いつもちこくのおとこのこ』

ジョン・バーニンガム/さく
谷川俊太郎/訳
(あかね書房) E/イ

ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー、おべんきょうしにがっこうへ。でも、とちゅうでいろいろなことごとこり、ちこくしてしまう。ちこくのりゆうをちゃんとはなすが、せんせいはしんじてくれない…。



『算数の呪い』

ジョン・シェスカ/文 レイン・スミス/絵
青山南/訳 (小峰書店) K410

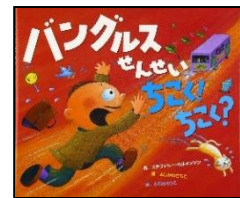
算数の時間、フィボナッチ先生がいったのよ、「みなさん、たいいていのは、算数の問題としてかんがえられるんですよ」って。だから、次の日からあたしのまわりのなにもかもが算数の問題にばけてしまった！せんせいはかけたのよ、あたしに「算数の呪い」を！



『バングルスせんせい ちこく！ちこく？』

ステファニー・カルメンソン/作
よしかわちさこ/絵 きむらのりこ/訳
(ひさかたチャイルド) E/イ

バングルせんせいがあさねぼう！せんせいは、なんとかちこくしないように、くるまやでんしゃ、そして、ききゅうまでつかって、がっこうへいそぐのですが…。



『どろぼうがっこう』

加古里子/作 (偕成社) E/ト

よにもなだかい「くまさか とらえもん」せんせいは、どろぼうがっこうの、こうちょうせんせいです。きょうもせいとに、はやくいちばんわるいどろぼうになるよういっしょうけんめいおしえています。



『大天狗先生の妖怪学入門』

富安陽子/著 (少年写真新聞社) K388

「これからの時代は、まずはおのれのことを、しっかり知らねばならん。」そういって大天狗は、集めた子天狗3びきに、妖怪とはなにか、いつどこから来たのか、人間とどうかかわってきたのかを教え始めました。さあ、大天狗先生の授業のはじまりはじまり～。

